

# ただいま、足軽番所復元工事中!



平成17年度には、平成18年3月の完成をめざして、足軽番所の復元工事を始めとして、江戸口御門や足軽番所雪隠、さらには、京口御門から芦ノ湖へと続く石垣や京口千人溜り斜面の石垣の復元工事なども行います。ご期待ください。

足軽番所は、現在公開されている大番所・上番休息所の道路を隔てた反対側にあります。

この足軽番所は約15×9mの大きさと、平屋建の建物でした。屋根は入母屋で、大番所・上番休息所と同じようにトチ葺きでした。内部には、昼間は足軽が控えていたり、夜は足軽が寝ていた畳敷の部屋の他、土間や関所破りをした罪人を留める獄屋(ごくや)がありました。



復元が進む足軽番所



復元された礎石

今年度、まず、礎石の復元から始まり、柱を礎石の形に合わせて削り、柱や梁などの構造材を建込み、建物外部の壁、屋根、そして内部の造作や建具の建込みと順次復元工事を行っていきます。

さらに、足軽番所の裏側にあった足軽番所雪隠(せっちん=トイレ)や横手にあった遠見番所へと通じる通路門の復元も行います。

## 現地説明会開催

毎月、原則、第4水曜日に、現地にて、箱根関所の復元工事の現地説明会を行っています。来年3月までの説明会の日程は次のとおりです。

平成17年

11月30日(水)

12月21日(水)

平成18年

1月25日(水)

2月22日(水)

3月22日(水)

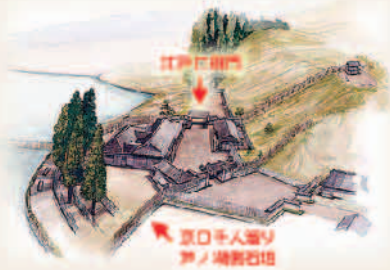
いずれも、1回目か午前10時から、2回目が午後2時からです。説明時間は1時間程度です。雨天等でも行います。当日、箱根関所までお集まりください。どなたでも参加できます。



# 江戸口御門や石垣の 復元工事も進む！

道を横切りそびえ立つ江戸口御門は、京口御門の反対側にあります。大きさは京口御門と同じで、約6.6mの高さがあり、屋根は切妻で、トチ葺きでした。

朝6時に開門し、夜6時に閉門しました。江戸口と京口の御門が開いている時でしか、旅人は箱根関所を通ることはできませんでした。



今年度、まず、礎石の復元から始まり、柱を礎石の形に合わせて削り、柱や梁などの構造材を建込み、屋根、扉などの取り付けと順次復元工事を行っています。



復元の準備が進む江戸口御門



江戸口御門の礎石

また、平成16年度の発掘調査により明らかとなった京口御門から芦ノ湖へと続く石垣や京口千人溜り芦ノ湖側斜面の土留めの石垣などの復元工事も行っています。



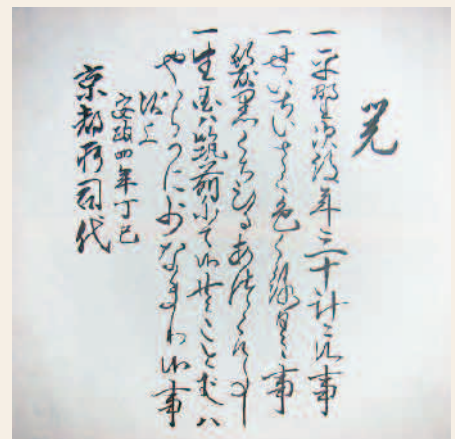
復元が進む京口千人溜り芦ノ湖側石垣



## 人相書

関所小咄

関所役人が詰めていた大番所・上番休息所で、面番所と呼ばれている部屋の中には、手配書が貼られていました。手配書が貼られていた位置は、箱根関所を通過するに当たり、取調べを受ける旅人側から見えてしまっただけで見える縁の内側の柱のところでした。手配書は今のようなモニター写真ではなく、手配人の特徴を文字で表していました。氏名、年齢、背の高さ、顔の特徴、出身地、発音の特徴などといった内容です。これで、本当に、手配人を見分け、捕まえることができたのでしょうか。



箱根町教育委員会生涯学習課  
箱根関所整備事業推進室

TEL 0460-5-7601

<http://www.hakonesekisho.jp>